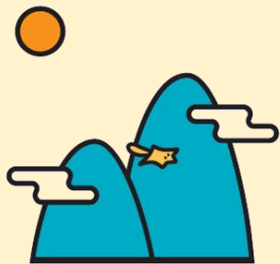


第1章

策定にあたって



1

策定の趣旨

本市は、昭和30年代から大学の進出が始まり、令和6年度（2024年度）現在では、市内に21の大学・短期大学・高等専門学校（以下「大学等」という。）が立地し、約9万人の学生が学んでいます。

この「学園都市八王子」としての特徴を活かして、平成15年（2003年）8月に大学等連携担当職員を配置する学園都市文化課を設置し、平成21年（2009年）4月には大学等とともに大学コンソーシアム八王子を設立しました。そして、平成29年（2017年）4月に、学園都市づくりを計画的に推進するため、分野別計画となる前計画「はちおうじ学園都市ビジョン」を策定し、地域社会の発展と高等教育の充実を目指して様々な施策を展開してきました。

少子高齢化などに起因する厳しい社会環境の変化が見込まれる2040年を見据え、本市は、行政が市民や企業、大学などと目標を共有し、様々な変化に柔軟に対応しながら協働のまちづくりを進めることで地域全体が維持・発展することを目指しており、大学等をまちづくりにおける重要なパートナーとして捉えています。

大学等の高等教育機関は、教育と研究という本来的な機能の発揮を通じて、社会や経済を基盤として支えています。

大学等と地域が連携するうえでは、大学等が、様々な課題が生じる最前線である地域を「社会的な実践の場」として教育研究活動を展開し、この取組を通して地域が活性化される、このような好循環を生み出していけるような関係性を築く必要があります。

このような状況を踏まえ、大学等と本市が、支え合いながら発展していくにあたり、目指すべき姿を定め、この実現に向けて相互に協力して取り組むうえでの道標とするため、「第2期はちおうじ学園都市ビジョン」（以下「本ビジョン」という。）を策定しました。

2

位置づけ

本ビジョンは、基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」に掲げるまちづくりの基本理念「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」の実現に向け、学園都市づくりの基本理念と基本方針を明確にするものです。

なお、学園都市づくりは、様々な施策分野と連携して効果を発揮するものであるため、各分野別計画との連携を図りつつ取組を進めていきます。

基本構想・基本計画 「八王子未来デザイン2040」



↓ 学園都市づくりの基本理念・
基本方針の明確化

「第2期はちおうじ学園都市ビジョン」

連携

八王子市
の
分野別計画

3

計画期間

基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」の計画期間に合わせ、令和6年度（2024年度）から令和12年度（2030年度）までの7か年とします。

八王子市におけるSDGsの取組

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、平成27年（2015年）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示された17ゴールと169ターゲットです。発展途上国向けの開発目標である「MDGs（ミレミアム開発目標）」の後継として採択され、発展途上国のみならず、先進国を含む国際社会全体の開発目標です。地球上の「誰一人として取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に対する総合的な取組が示されています。

本市においては、基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」における基本理念「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」が、SDGsに掲げる持続可能な社会の実現と方向性が一致していることから、基本計画に定めた37の施策を着実に実行することで、17のゴールの達成へ貢献していくことを掲げています。

基本理念を「大学等と地域がともに発展するまちづくり」とする本ビジョンにおける取組は「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」を中心にあらゆるゴールにつながっています。基本施策に掲げる各取組を推進することで、引き続きSDGsの達成に貢献していきます。

